

脚立の事故

事故の概要

【事例①】脚立から転落し、右肩を骨折した。

【事例②】またいでいた脚立から降りようと反転した際に転倒し、手首を骨折した。

【事例③】三脚脚立が急に転倒し、右手首を骨折した。

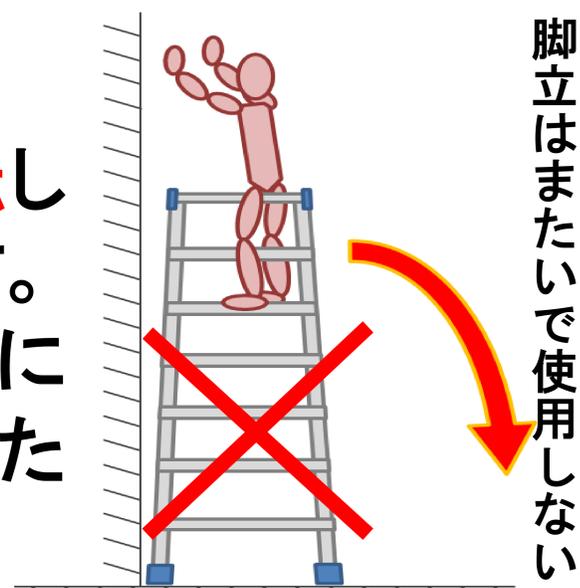


事故の原因

【事例①】砂利の上に設置して脚立をまたぎ、さらに両手に道具を持っていたため、脚立が傾いた際に身体のバランスを崩したものです。

【事例②】脚立をまたいだ状態から反転した際、脚立が左右方向に傾いたものです。

【事例③】傾斜のある柔らかい芝生の上に設置し、また設置角度が適正でなかったため、脚立が傾いたものです。



事故防止のために

- ◆脚立をまたいで使用しないでください。
- ◆傾斜など不安定な場所で使わないでください。
- ◆三脚脚立の昇降面と後支柱の設置角度は、約75度にしてください。
- ◆昇降は慎重に行ってください。特に昇降面の左右方向は転倒しやすいという特徴があります。
- ◆天板に乗ることを禁じているものがあります。取扱説明書で確認してください。

